

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月15日更新

事務事業名		新環境工場等建設地周辺地域生活環境改善事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康				所属部	市民生活部	課長名	岡田 光弘	
	施策	18	住環境の充実				所属課	環境衛生課	担当者名	中嶋 繁之	
	施策の柱	58	公園など身近な住環境の整備とみどりの保全				所属班	環境衛生班	(内線)	1142	
予算科目		会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 11759	根拠法令				
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 30 年度) ☐ 期間限定複数年度				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	菊池環境保全組合が令和3年4月供用開始に向けて実施している新環境工場等整備事業に伴い、新環境工場等建設地周辺地域（関係地区6地区：二子、日向、上町、横町、下町、上庄）における生活環境の改善のため建設地周辺の道路整備等を行う。
【業務の流れ】	菊池環境保全組合負担金の基金積み立て、関係地区との協議、生活環境改善工事等の実施、工事等費用の支払い
【主な予算費目】	時間外勤務手当、委託料、工事請負費、公有財産購入費
【意見や要望】	関係地区からは、新環境工場等の工事期間、供用開始以後の車両通行、農作物風評被害等対策、県道交差点改良、市道舗装、地元雇用等の要望が出ている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)		2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
新環境工場等建設地周辺地域の生活環境整備を行い、当該周辺地域における生活環境の保全のため「請地・佐土原線側溝蓋改修工事」、「蛇ノ尾公園線地区画線設置工事」、「新環境工場周辺雨水逆流箇所改修工事」を実施した。また、「乙丸線交差点拡張工事（ゼブラゾーン設置）測量設計委託及び同工事（令和2年度実施）に伴う用地買収を行った。		周辺地区との協議、乙丸線交差点拡張工事（ゼブラゾーン設置）の施工、農道上町原1号線補修工事、二子上1号線工事、十三部・向五本松線工事、上庄大工山線工事、周辺地区（5区）への補助金（協力金）交付	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 整備率	%	新環境工場周辺市道改良工事（乙丸線交差点拡張工事（ゼブラゾーン設置）、農道上町原1号線補修工事、二子上1号線工事、十三部・向五本松線工事、上庄大工山線工事）の本数が増加したことによる工事請負費の増	
イ		周辺地区（5区）へ協力金を交付することによる負担金補助及び交付金の増	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
新環境工場等建設地周辺地域住民からの整備要望箇所		→ ア 整備要望箇所	箇所
		→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
生活環境の整備		→ ア 整備率	%
		→ イ	
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
要望があっている分で未整備箇所の完了を目標に事業を進めていく。			
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	ア	%		0	100	100	100	100	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	箇所		0	4	4	5	3	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	%		0	100	100	100	100	0	0
	イ									
投 入 費 用 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		13,200	52,964	53,000	32,687		
		繰入金	千円			54,000	49,008			
		一般財源	千円		49		44			
	(A) 事業費計		千円	0	13,249	106,964	102,052	32,687	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
			千円	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数		人	0	0	5	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	0	0	550	400	400	400	400
	(B) 人件費計		千円	0	0	2,179	1,593	1,593	1,593	1,593
トータルコスト(A)+(B)			千円	0	13,249	109,143	103,645	34,280	1,593	1,593

事務事業名	新環境工場等建設地周辺地域生活環境改善事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②2年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 予算額と調整を行い、計画的に事業を進めていく。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 成果は事業が完成しないと発揮できない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 当該事業は新環境工場建設に伴う周辺地域（関係地区6地区：二子、日向、上町、横町、下町、上庄）における生活環境の改善のため事業であり、類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 新環境工場建設に伴う地域周辺整備であり、これまで市、関係6区、菊池環境保全組合で協議した結果であり、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業に必要な最低限の人件費であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 新環境工場建設に伴う周辺地域の道路整備事業であるが、地域はもとより不特定多数の市民が通行利用する市道の整備であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 新環境工場建設に伴う関係6区からの要望であり決定事項でもある。市が責任を持って事業を進めていかなければならないため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

新環境工場建設に伴う関係6区と協議内容であり、決定事項であるため、周辺地域をはじめ近隣通行者の利便性や交通の円滑化が図られることから必要な事業であり継続は妥当である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止

☐休止

☐目的再設定

☐事業統廃合・連携

☐事業のやり方改善（有効性改善）

☐事業のやり方改善（効率性改善）

☐事業のやり方改善（公平性改善）

☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策